

vol. **02**

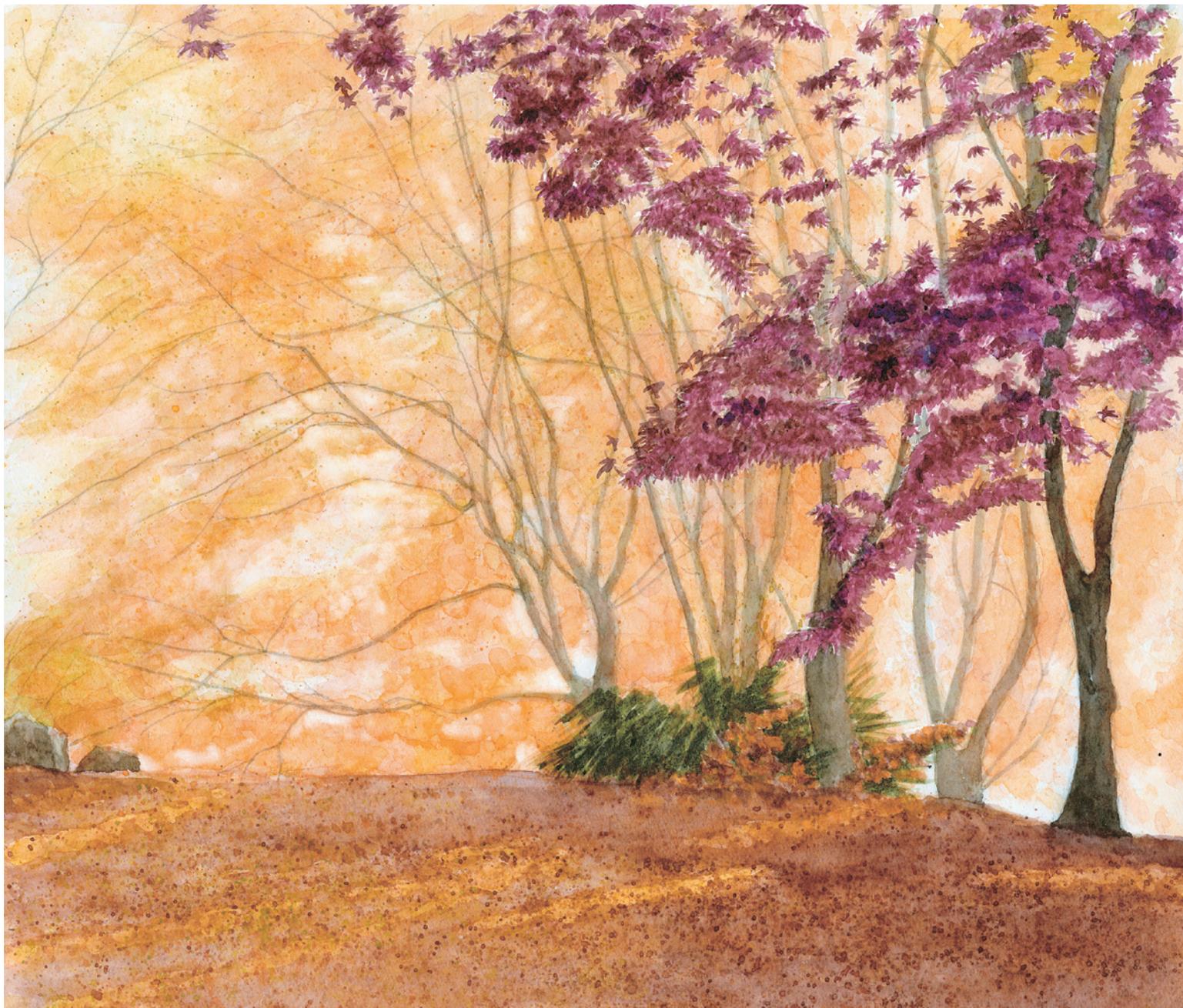
令和元年度 第2号
(年間4回発行 通巻第152号)

組合活性化情報 中央会とくしま

特集

令和元年度
徳島県商工労働観光部
主要施策の概要

徳島県中小企業団体中央会 <http://www.tkc.or.jp/>



組合活性化情報 中央会とくしま

vol. 02

令和元年度 第2号
(年間4回発行 通巻第152号)

特集

令和元年度
徳島県商工労働観光部
主要施策の概要

2

組合クローズアップ 第2回

徳島県味噌工業協同組合

6



アウトフィット有限会社

8

組合ホットニュース

12

- ◎協業組合徳島印刷センター
プライバシーマーク制度貢献事業者として感謝状を贈呈されました
- ◎南四国たばこ販売協同組合連合会
未成年者の喫煙防止啓発キャンペーンを実施しました
- ◎徳島市両国本町商店街振興組合
東京高円寺パル商店街振興組合と友好商店街を提携しました
- ◎株式会社アルス製作所(徳島県鉄鋼協同組合組合員)
令和元年度「健康を考える県民のつどい」企業部門を受賞されました
- ◎徳島県環境整備事業協同組合
中川幸彦理事長が浄化槽関係事業功労者環境大臣表彰を受賞されました
- ◎徳島市指定上下水道工事店協同組合
小池芳廣理事長が市政功労者徳島市長表彰を受賞されました

情報連絡員レポート

15

令和元年8月の景気動向

青年部コーナー

16

◎青年部活動トピックス

女性部コーナー

18

◎女性部活動トピックス

中央会トピックス

20

- ◎平成30年度補正ものづくり・商業・サービス生産性向上
促進補助金交付申請説明会を開催しました
- ◎効果的な中小企業販路開拓支援事業講演会を開催しました

中央会事務局職員

十人十色

21

◎連携推進課 主事 吉川 泰史

お知らせコーナー

22

- ◎徳島県最低賃金のご案内
- ◎中小企業の情報セキュリティマネジメント指導事業
参加企業募集のご案内

編集
後記



表紙絵

作者: 徳島県中小企業団体中央会顧問 布川 嘉樹 氏

タイトル: 「霧中の紅葉・秋の大山寺境内」

大山寺は板野郡上板町に所在する真言宗醍醐派の寺院で山号は物王山。本尊は千手観世音菩薩で四国別格二十霊場第一番札所です。寺院は大山(691メートル)の中腹にあり、山頂からの眺望は「徳島百景」の一つになっています。寺伝によれば6世紀前後、西範僧都が開基した仏法道場と伝えられています。平安時代前期、空海が加藍の整備を行い、恵果和尚より授かった千手観世音像を本尊として安置したといわれています。当寺出土の経筒は大治元年(1126)の文字が刻まれており重要文化財に指定、また境内の老桜・大楓・大杉・枝垂れ銀杏は町の天然記念物に、周囲一帯は阿波十二勝の一つに選ばれています。



特集

令和元年度 徳島県商工労働観光部 主要施策の概要

令和元年度に実施予定の徳島県商工労働観光部の主要施策（令和元年度当初予算・6月補正予算）の概要を紹介します。（単位：千円）



「経営基盤」と「成長力」の強化



(1) 安定した経営基盤の確立・強化

- ① 徳島県地域産業活性化事業 1,028,390（うち当初計上 789,365）
商工業の健全な発展を図るため、商工会、商工会議所及び中小企業団体中央会が行う経営改善普及事業及び連携組織支援事業等に対して助成を行う。
- ② 中小企業振興資金貸付金 22,931,000（うち当初計上 17,831,000）
中小企業者等の事業経営に必要な資金の円滑な確保を支援するため、金融機関、信用保証協会と協力し、低利の各種融資制度を設ける。
- ③ ①新生産性革命対応・小規模事業者育成事業 7,000
小規模事業者の労働生産性を高め、さらなる成長発展へと繋げるため、IoT や AI 等を活用し生産性向上を図る先駆的な取組みを支援する。
- ④ ①新事業承継マッチング機能パワーアップ事業 7,500
県内企業の優れた技術、経営ノウハウの伝承を促進するため、事業承継ネットワークの運営支援や移住・就労・起業と一体となったマッチング機能を強化する。

(2) 「頑張る」企業の成長力強化

- ① ①新徳島わくわく創業支援事業 11,000（全額当初計上）
移住創業や社会的課題の解決につながる創業を促進するため、地域に密着した新たな事業を立ち上げる創業者に対し、支援機関と連携し、伴走支援を行う。
- ② ①新ふるさと起業家支援プロジェクト 16,000
創業促進による地域経済の好循環の拡大を図るため、クラウドファンディング（ふるさと納税）を活用し、地域課題解決に資する事業を立ち上げる起業家を支援する。
- ③ ①新中小企業海外展開トータルサポート事業 12,500（うち当初計上 2,500）
県内企業の海外展開拡大を図るため、ワンストップ相談窓口設置によるきめ細やかな支援や香港・台湾・EPA 加盟国を対象とした商談会等を効果的に実施する。
- ④ ①企業立地促進事業費補助金・情報通信関連事業立地促進費補助金 1,451,000（全額当初計上）
本県の発展に資する成長分野である製造業や情報通信関連企業などの誘致を促進するため、立地企業の投下固定資産や雇用などに対して助成する。

(3) 「徳島の強み」を活かした産業の集積

- ① **新次世代“光”産業創生事業** 53,200（うち当初計上 44,000）
県内LED・藍関連産業の振興と次世代“光”産業の創出を図るため、「藍」や「LED」を活用した製品開発と首都圏・世界に向けた販路開拓等を支援する。
- ② **新クリエイティブ産業育成事業** 61,000
クリエイティブ産業関連企業の集積を図るため、4K・VRの推進やLED・デジタルアートの全県展開、商品等のブランド化に向けた取組みを支援する。
- ③ **新とくしま「健幸」イノベーション創出促進事業** 53,000（全額当初計上）
糖尿病の克服と健康・医療関連産業の創出・集積を促進するため、本県独自の「コホート研究」や、糖尿病研究開発成果の事業化及び社会実装の取組みを推進する。
- ④ **新農工商連携新分野進出支援事業** 2,500
県内ものづくり企業の新分野進出を支援し県内産業の発展を図るため、藍生産者と連携し、生産現場の省力化や生産力強化に資するロボットや機械の開発を行う。
- ⑤ **AI・ロボット地域産業イノベーション推進事業** 8,000
県内企業のロボット分野への参入を促進するため、AI・IoTの技術を活用した育児やインフラ維持管理等の課題解決を図るロボット技術開発に取り組む。



「人材育成」と「働き方改革」の推進



(1) 多様な人材の参画を促進

- ① **新とくしま地域活性化雇用創造プロジェクト** 87,423
新たな雇用創出と地域産業の活性化を図るため、新成長戦略産業分野の県内企業における商品開発や販路拡大、人材育成等に対する取組みを支援する。
- ② **女性の創業ステップアップ支援事業** 2,500（全額当初計上）
女性の創業を促進するため、創業計画の策定や法律知識など創業準備支援に加え、創業後の経営課題に対する相談から販路開拓まで、段階に応じた支援を実施する。
- ③ **シルバー人材センター機能強化促進事業** 2,000
シルバー人材センターの機能強化を図るため、シルバー人材センターにおける新たな「職域」・「就業機会」・「会員」の拡大を支援する。
- ④ **障がい者雇用継続よりそい支援事業** 9,000（全額当初計上）
企業への障がい者雇用を支援するため、企業相談コーディネーターによる企業訪問と「AI活用双方向型FAQシステム」の活用による情報提供を実施する。
- ⑤ **新地域とつなぐ！在住外国人支援事業** 25,100（うち当初計上 10,000）
外国人との共生社会の実現に向けた環境整備を推進するため、「多文化共生総合相談ワンストップセンター」を設置するとともに、地域住民との交流を促進する。

(2) 実践的な人材の育成と活用

- ① **クリエイティブ人材育成事業** 13,000（全額当初計上）
クリエイティブ人材の更なる育成を促進するため、高等教育機関や企業と連携し、AI・IoT、映像、デザイン等に関するセミナーや講座を開催する。

- ② プロフェッショナル人材戦略拠点事業 30,000 (全額当初計上)
首都圏等の優れた人材を本県に還流させるため、「プロフェッショナル人材」のコーディネート拠点を運営し、プロフェッショナル人材の獲得を促進する。
- ③ とくしま経営塾「平成成長久館」事業 14,400 (うち当初計上 8,000)
中小企業の「強い組織づくり」を支援するため、各種セミナーを通じた経営の核となる人材育成と経営課題解決のための専門家派遣を一体的・効果的に実施する。
- ④ ⑨徳島版マイスター制度ステップアップ事業 15,000 (全額当初計上)
未来のものづくりを支える人材を育成するため、優れた民間技能者との連携やドイツとの相互交流による「幅広い世代」を対象とした職業訓練を実施する。
- ⑤ ⑨IT人材確保支援事業 3,000
IT技術者の需要増加による県内企業の人材不足を解消するため、国内外からの人材確保に向けた取組みを支援する。

(3) 「働きやすい」環境の整備

- ① 柔軟な働き方「テレワークするんじょ！」事業 23,000 (全額当初計上)
テレワークの普及を促進するため、「テレワークセンター徳島」を運営するとともに、専門的・実践的なICT人材の養成に向けたスキルアップ研修会を開催する。
- ② 企業主導型事業所内保育施設開設サポート事業 3,300 (全額当初計上)
働きやすい職場環境の整備による多様な働き方を実現するため、アドバイザーを設置し、企業主導型保育施設の整備を促進する。
- ③ ⑨働くなら徳島で！外国人就労支援事業 2,500 (全額当初計上)
外国人の県内企業への就労を促進するため、採用に係る留意点を学ぶセミナーや、外国人留学生、JET参加者等を対象としたマッチングフェア等を開催する。
- ④ ⑨外国人労働相談サポート事業 2,300
多様な外国人材が集う徳島の実現のため、県内在住や定住を希望する外国人に対し、労働相談窓口を設置し、きめ細やかな支援体制の整備を図る。

「コンテンツ」の充実と「誘客力」の向上

(1) 戦略的なプロモーション活動の展開

- ① 千客万来！「オール徳島」観光誘客プロモーション事業 61,500 (全額当初計上)
宿泊者数の増加を図るため、宿泊施設、旅行会社、交通機関等と連携した「#徳島あるでないで」キャンペーンの展開や、「本県単独」の観光商談会等を開催する。
- ② コンベンション誘致促進事業 34,800 (全額当初計上)
誘客交流、地域経済活性化を促進するため、開催経費助成等を実施するとともに、国内・海外へのコンベンション誘致のための営業活動を強化する。
- ③ ⑨宿泊施設リノベーション支援事業 80,000
宿泊者の増加を図り、地域経済活性化へつなげるため、施設の魅力アップに取り組む宿泊事業者への助成を行う。

- ④ **①新**「阿波藍」魅力創造発信プロジェクト 24,000
藍産業の持続可能な基盤の構築を図るため、人材育成や知的財産制度の活用、藍染製品の商談会への出展など、「阿波藍」のブランディングに向けた取組みを行う。
- ⑤ **①新**とくしま県産品魅力発信支援事業 7,500（うち当初計上 6,000）
「とくしま特選ブランド」をはじめとする県産品の販路拡大や認知度向上を図るため、事業者を支援する研修会や大都市圏での観光プロモーションを実施する。

(2) インバウンド誘客の促進

- ① **①新**「Visit Tokushima」千客万来事業 70,000（全額当初計上）
外国人観光客の着実な増加を促進するため、香港・台湾等におけるプロモーションの強化や個人旅行者対策の強化、通訳人材の拡充・スキルアップを図る。
- ② **①** 歓迎徳島！外国人誘客促進事業 108,000（全額当初計上）
外国人観光誘客を促進するため、効果的な情報発信や、各種助成制度による旅行商品造成の促進、多言語表記など受入環境整備に取り組む県内事業者を支援する。
- ③ **①** 世界へ躍進！阿波おどりプロデュース事業 15,000（うち当初計上 12,200）
本県へのインバウンドの増加を図るため、阿波おどり選抜連や指導者の海外派遣を行い、効果的な観光プロモーションを実施する。
- ④ **①新**世界阿波おどりサミット開催事業 3,000
阿波おどりの通年化と本県への観光誘客を促進するため、世界に広がる取組みとして、聖地徳島に集結する「世界阿波おどりサミット」を初開催する。
- ⑤ **①新**とくしま周遊観光促進事業 11,000（うち当初計上 6,000）
県内の周遊観光を促進するため、おもてなしタクシーの配車サービス向上や本県での宿泊を伴うレンタカー利用の訪日外国人向け旅行商品への助成を行う。

(3) 「徳島ならではの」のにぎわいの創出

- ① **①新**ナイトタイムエコノミー活性化事業 7,500
本県宿泊者の増加と観光消費拡大による経済活性化を図るため、新たなナイトイベントを企画する民間事業者を支援し、「徳島の夜の観光」の充実を図る。
- ② **①新**「アニメの聖地とくしま」魅力パワーアップ事業 68,000（うち当初計上 22,300）
国内外からの誘客を図り、地域経済を活性化するため、10周年を迎える「マチ★アソビ」を核として、徳島ならではのアニメイベントを開催し、情報発信を行う。
- ③ **①** 世界最高の情熱！阿波おどり体感事業 43,500（うち当初計上 38,000）
「阿波おどり」の通年化による誘客を促進するため、春・夏・秋・冬と阿波おどりを通じた強力な誘客コンテンツの展開を図る。
- ④ **①** エンジョイ・アップ☆プロスポーツ事業 17,000（うち当初計上 15,500）
プロスポーツを通じた更なるにぎわいを創出するため、プロスポーツの持つ情報発信力を活用した魅力発信や、県内外からの来場を促すイベントを実施する。

本会は、多種多様な業種の組合等が会員となっていていただきます。各組合がその特徴を活かし日々活動を続けており、今後の組合活動のご参考になるよう、会員の皆様方の仲間を取材し、紹介していきます。

徳島県味噌工業協同組合

「御膳みそ」の品質向上とブランド化により、 業界全体の活性化を目指す！

■ 徳島県の味噌文化の歴史

味噌は、日本人の食生活に無くてはならない存在です。徳島県においても、味噌作りの歴史は古く、本県の味噌の出荷量（平成29年11月～平成30年10月）は、四国内では最も多く（徳島県6,887トン、愛媛県1,519トン、香川・高知県645トン）、また西日本で第3位、全国では第8位となっています。

徳島県で味噌作りが盛んな理由として、

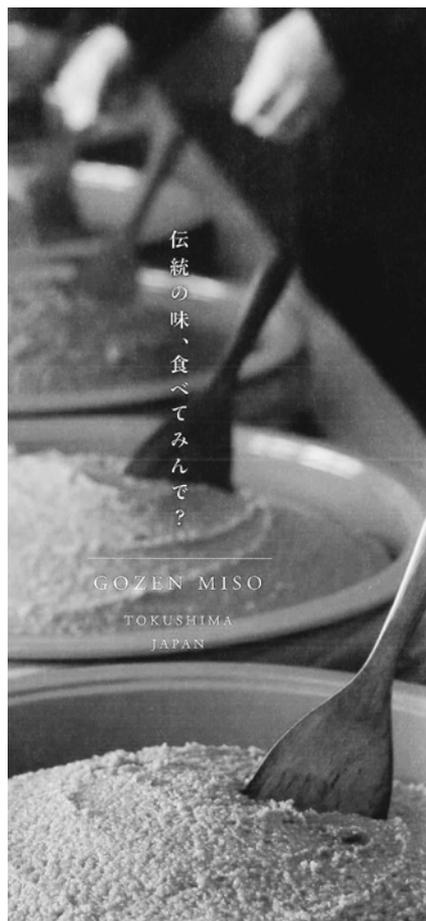
- ① 江戸時代、阿波藩主・蜂須賀公による奨励があったこと
 - ② 当時盛んであった藍作の裏作として良質な大豆が多く栽培されていたこと
 - ③ 鳴門で製塩業が盛んなため高品質な味噌の原料が入手できたこと
- などがあります。

このように味噌作りが発展する環境が整っていたこともあり、特に徳島県において味噌は、“家庭の味”として親しまれています。

■ 「御膳みそ」の特徴

県内の味噌製造業者が製造している「御膳みそ」は、「殿様の御膳に供した味噌」に由来しており、赤色甘口味噌で、他の地域の味噌に比べて主原料（大豆と米）のうち米の使用量が多く、旨味と甘みが強いこと、加えて酵母の発酵による爽やかな香りがあることが特徴です。

徳島県味噌工業協同組合は、組合が原材料の配分などの基準を定めた統一ブランドである「御膳みそ」を昭和41年に商標登録するなど、



設立から現在まで71年間に渡り、歴史のある本県のブランド味噌として普及のための各種活動を展開しています。

■ 組合による「御膳みそ」ブランドの 品質向上と普及！

昨今、味噌の生産量は、人口減少、事業承継問題、食生活の多様化などで年々減少しています。また徳島生まれ・徳島育ちの地元味噌でありながら、世代交代などでその認知度が低下しているのが現状です。

かつて徳島県内の味噌出荷量の大部分を占め

ていた「御膳みそ」は現在約3割のシェアに留まっており、「御膳みそ」の消費拡大が重要な課題となっています。

このような厳しい現状を打破するため、組合では、統一ブランド「御膳みそ」の品質向上を推進し、販売促進のための積極的な取り組みを行っています。

まず、平成27年から徳島県立工業技術センターと共同で研究会を立ち上げ、①色調、②香り、③味、④組成などの審査項目についての味噌鑑評会において具体的な評価や、製造方法について専門家と意見交換を実施するなど、「御膳みそ」の品質レベルアップを図るほか、県外同業他社の味噌工場見学（兵庫県芦屋市）を実施し、導入設備・作業の流れ・保管方法・衛生管理について学び、組合員のモチベーションの高揚を図っています。



また販売促進の観点からは、「御膳みそ」の周知を全面に押し出したホームページ、パンフレット・リーフレットを作成するほか、阿波藍を使用した法被やのぼりも作成し、キャラバン隊による「御膳みそ」の周知活動及び情報提供などを各方面へ行っています。



さらには、県やジェトロの協力を得て、アジア圏・EU圏への輸出を目指しております。特にEU圏への輸出拡大を図るため、「御膳みそ」のシンボルとなる“ロゴマーク”を作成しました。このロゴマークのデザインは、県内のデザイナーに依頼し「御膳」を前面に押し出したものとなっており、ローマ字表記も加え、各方面

から好評を得ています。

加えて「遠い未来まで『御膳みそ』文化が続いていくよう、安全・安心をモットーに、この徳島の地で味噌を作って参ります。」との最近話題になっているエシカル消費自主宣言も行っています。

■ 業界の将来を見据えた今後の活動

明るい話題としては、平成25年のユネスコ無形文化遺産に「和食」が登録されたことで、海外において日本食が注目を浴びています。

このような追い風に乗り、「和食」には無くはない「味噌」の海外との取引を拡大していくためには、法律や取引条件の克服・消費者の厳しい目に対応できる品質の向上など、種々の課題に対する体制及び環境の整備が急務となっています。

今後も組合員一丸となり、「御膳みそ」の消費拡大を図るため、官公庁や地域関係部署との連携を強化し、法律や取引条件の対応、品質向上を図っています。

また販促活動として各種イベントへの積極的な参加、国内及び海外バイヤーとの交流、プレゼンテーション力の向上などに取り組むほか、SNSを利用したグローバルなPR活動も展開していくこととしています。

組合プロフィール

徳島県味噌工業協同組合

住 所：〒770-0943 徳島市中昭和町一丁目95番地の1

電 話：088-652-6472

FAX：088-655-9852

理事長名：田中英太郎

業 種：味噌製造業

組合員数：14社

設立年月日：昭和23年11月29日



理事長

田中英太郎氏



アウトフィット有限会社

中央会では、平成24年度から始まった補正事業「ものづくり補助金」の地域事務局として、試作開発等に取り組む事業者への補助金交付や事業推進の支援に取り組んでいます。このコーナーでは、本補助金を活用して成果を上げておられる県内中小企業の皆様方を「ものづくりの達人」としてご紹介しています。

第19回目は平成26年度にもものづくり事業に取り組まれた『アウトフィット有限会社』様をご紹介します。同社は、顧客満足度を向上させる上で重要な要素となる「顧客との会話の質と量」の向上を支援するITを活用した独自の接客支援システムを開発されました。

西谷明彦社長に独自の接客支援システムのお話を伺いました。

1 2002年の創業ですが、会社名の由来と種々のサービスの提供を柱にした会社を立ち上げようと考えた経緯をお聞かせください。

2002年に創業するまでは電機メーカーで仕事をしていました。業者間取引（b to b）担当であり、エンドユーザーの方々が当社の商品を実際どのように使っているか見えず、もどかしさがありました。

ある日、台湾在住の高齢の男性（以下、A氏）から日本語で書かれた手紙が、私の部門に届きました。アメリカに住む息子が、初めての給料でビデオデッキを買ってくれたが、説明書が英語なので、日本語の説明書があれば送って欲しいと言う内容でした。

私は、そのような大切なビデオデッキならA氏は絶対に使いたいだろうと思い、上司に操作に最低限必要な日本語の説明書を有志で作りたいと相談しましたが拒否されました。しかし、どうしても諦めることができず、有志とその対応を行いました。A氏には大変喜んで頂き、その後毎月お礼のFAXが届くようになり、上司に知られることとなりました。



西谷明彦社長

その出来事がきっかけで、自分が本当にしたいサービスとは何かと考えるようになり、ルール違反をしないために、自分がルールを作り、自分が社長にならないといけないと思いました。そこで一大決心をし、会社を立ち上げることにしました。

起業した後A氏より来日して今治にいたので会いたいとの電話が入り、車を飛ばして会いに行ったところ、A氏から過日の対応に対する感謝の言葉を頂きました。A氏との関わりがきっかけで、今もずっと本当のサービスとは何かと考え続けています。

自分がサービスを提供するのなら、IT事業しかないと考え、自宅の一室の8畳間でアウト

フィットパソコン教室を起業しました。

弊社の名前アウトフィット (outfit) には、辞書を引きますと「服装」という意味が含まれ、服飾関係の会社と間違われることがあります。弊社がこの言葉を社名に選んだ理由は、その言葉の持つ主な意味である「特定の目的のための支度品、装備一式、仕事に従事するチーム、一団、一行、団体」という意味にあります。

起業した当時はITリテラシーの格差が生活や人生に大きく影響するといわれ始めた時期でした。これからの時代の人生の旅路に必要な装備、支度品としてのITリテラシーを向上させていくサービスを提供する集団、会社としてこの言葉を社名に選びました。



パソコン教室

2 平成26年度補正ものづくり・商業・サービス革新補助金事業において『顧客との会話（対話と傾聴）を促進し顧客満足度を向上させることに特化した独自の接客支援システムの開発』で採択されています。ユニークな事業であったことを記憶しています。この事業内容と成果についてお聞かせください。

PCスクールを起業して3年が経過した頃、お客様や地域の人々が求めているものは、表の欲求であるITリテラシーの向上の他に、裏の欲求があることを感じました。地域住民は、中高年層や高齢者層がほとんどで、人とのつながりが希薄になり、健康や若さなどを失うことが連続する世代とも言える状況になっています。

弊社を利用してくださるお客様は、人とのつながり、規則正しい日課および心身の健康維持を求めています。

日々の生活の中での屈託の無い楽しい会話、新しいことにチャレンジする刺激、そして心身の健康を維持するためには、よい仲間が必要です。お客様の欲求を知り、お客様との信頼関係を深め、人と人をつなげて仲間をつくり、新しいことに出会える居場所をつくる。そのためにはお客様との会話の積み重ねが重要です。特に傾聴が重要でそこから対話が生まれます。スタッフはたくさんのお客様と接客するため個人の技能や能力には限界があります。そこを補完するために補助事業を活用したITツールを開発させて頂いて、お客様との接客をより深いものにしていきます。

顧客満足度の指標である導入後の既存顧客の会員退会率は3%を切っており、会員制ビジネスとしてみた場合でも、かなり低水準の退会率を維持しているという成果が出ています。また会員の継続期間も、平均5年6ヶ月と延ばしており、長く楽しめる居場所としての役割を果たせていると感じています。

3 最近、悠遊大学を開学されました。事業コンセプトや特徴についてお聞かせください。また、種々の事業に集う方々の気持ちや感情の変化、体力や頭の老化防止などについて気付きがあればお聞かせください。

PCスクールとして事業を行う過程で、会員であるお客様の避けられない老化の進行と向き合ってきました。

何か出来ることは無いかという視点から、高齢者のフィットネスジム、人生の中であきらめてきたこと、やり残してきたことなどに取り組むIT以外の様々な生きがいにつながる趣味の講座などが生まれてきました。

い、いやな事も言えないという弱い立場であることを理解した上で、こちらからお客様のご不便や不満を汲み取って、気持ちよく過ごしていただくサービスを徹底しなければなりません。スタッフが強い立場だからこそ、十分なお客様への気配り・心配りが必要だということを社員で共有しています。



英会話教室

5 人の寿命は100年と言われるようになってきました。生き方が問われ、晩年の過ごし方がそれぞれの命題になっています。御社の方向性と何かご提言をお願いします。

少子高齢化は今後も進んでいくという現実の中で、高齢者問題はさらに深刻化していく可能性があります。老々介護、認知症、運転免許返納による交通手段の喪失、高齢者の孤立化、寝たきり、孤独死など身近な問題として現出しています。

寿命は延びても、10年もの入院や要介護の生活を送るのは本人や家族にとっても幸せとはいえません。いかに健康で人の世話にならずに自立した生活を続けられるかが基本にあると考えています。心と身体が健康の状態こそ生きがいのある日常を楽しむことができます。

少子化問題の解決も重要です。それと同じくらいに、生き生きと老後が過ごせる社会も重要です。現在の高齢者は若者の未来の姿でもあります。高齢者が生き生きと輝く社会は次の世代にとっても希望となります。

社会や家庭のために頑張ってきた世代が、今度は自分のために時間とお金を使える社会を目指したい。第二の青春を謳歌できる、生きがいのある老後を創っていくことが超高齢社会の命題です。弊社は今後もこの命題に対して必要とされるサービスを展開してまいります。

企業の概要

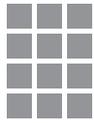
- 会社名 アウトフィット有限公司
- 所在地 美馬市美馬町八幡115
- 電話 (0883)55-2951
- FAX (0883)55-2952
- E-mail info@outfit.jp
- HP <http://outfit.jp/>
- 代表取締役 西谷 明彦
- 設立年月日 平成15年4月1日
- 従業員数 10名
- 業種 教育、学習支援業

【取材を通して】

西谷社長のお話から、一人の人物との出会いが西谷社長の人生を大きく変えたことが、とても印象に残りました。

当日は、西谷社長が廃校となった小学校の教室、図書室などを案内してくださり、校内で開催しているパソコン教室、英会話教室などを見学すると、非常に楽しい雰囲気、皆様自由に又熱心に学ばれており、有意義な時間と居心地の良い場所を提供されていることに感動を覚えました。教室の黒板、校舎のチャイムなどもそのまま活用され、子ども時代を思い出し懐かしく感じられました。

西谷社長様この度はお忙しい中ありがとうございました。



組合ホットニュース

プライバシーマーク制度貢献事業者として感謝状を贈呈されました ～ 協業組合徳島印刷センター ～

令和元年5月21日、協業組合徳島印刷センターは、プライバシーマーク制度貢献事業者として一般財団法人日本情報経済社会推進協会（JIPDEC）から感謝状を贈呈されました。

この感謝状は、長年にわたる個人情報保護マネジメントシステムの維持・向上に務め、プライバシーマーク制度の推進に貢献したとして、認定事業者に贈呈されるものです。

組合においては、平成19年6月にプライバシーマークを取得し、以降12年間にわたって継続して適切な個人情報の管理・運用をしています。今後も個人情報の適切な保護に務め、お客様の信頼に応えていくことをご期待申し上げます。



未成年者の喫煙防止啓発キャンペーンを実施しました ～ 南四国たばこ販売協同組合連合会 ～

令和元年7月11日、南四国たばこ販売協同組合連合会は、未成年者の喫煙防止を呼び掛ける啓発キャンペーンを徳島駅前で行いました。

「たばこはハタチから」と書いたタスキを掛けた参加者は、通学中の学生などに「未成年者には売らない、買わない、吸わせない」のスローガン入りポケットティッシュ約3,000個を配りました。喫煙防止を訴える横断幕やポスターも掲げ、注意を促しました。

このキャンペーンは、未成年者喫煙防止月間（7月）の取り組みの一つで、全国の都市で同様の運動を展開しています。

当連合会においては、未成年者の喫煙防止のため、たばこ店の店頭での年齢確認を引き続き徹底していくことにしています。



東京高円寺パル商店街振興組合と友好商店街を提携しました ～ 徳島市両国本町商店街振興組合 ～

令和元年8月13日、徳島市両国本町商店街振興組合は、東京都の高円寺で阿波踊りを始めた東京高円寺パル商店街振興組合と友好商店街を提携しました。徳島市で行われた提携式典には同組合の新居綾路理事長と高円寺パル商店街振興組合の河原一理事長が出席し、協定書にそれぞれ署名しました。

東京都の高円寺で行われている阿波踊りは、高円寺パル商店街が昭和32年に始め、徐々に拡大し、今では東京の夏の風物詩として定着しています。阿波踊りを通じて交流を深めてきたことから友好提携することになりました。徳島市内の商店街が、他県の商店街と友好提携をするのは初めてのことで、今後、両商店街は、阿波踊りなどを通じて地域の活性化に取り組むこととしています。



写真左から河原理事長、新居理事長

令和元年度「健康を考える県民のつどい」企業部門を受賞されました ～ 徳島県鉄鋼協同組合の組合員 株式会社アルス製作所 ～

令和元年9月2日(月)徳島市のあわぎんホール(徳島県郷土文化会館)において、9月の「健康増進普及月間」及び「がん征圧月間」の協同行事として令和元年度「健康を考える県民のつどい」が開催されました。

表彰式典では、健康づくり推進活動に貢献のあった個人と団体と企業に徳島県知事表彰が贈られ、企業部門においては、株式会社アルス製作所が表彰されました。この受賞を機に、さらに一段のご発展ご躍進をご期待申し上げます。受賞おめでとうございます。



企業部門で受賞した株式会社アルス製作所

中川幸彦理事長が浄化槽関係事業功労者環境大臣表彰を受賞されました ～ 徳島県環境整備事業協同組合 ～

令和元年10月1日（火）東京都のホテルグランドパレスにおいて、同日の「浄化槽の日」を記念し、第33回全国浄化槽大会が開催され、浄化槽関係事業の発展向上に顕著な功績のあった功労者に表彰がありました。浄化槽清掃業界の指導者として、長年にわたり、業界の発展と組合の円滑な運営に寄与された徳島県環境整備事業協同組合理事長の中川幸彦氏が表彰されました。益々のご活躍が期待されます。受賞おめでとうございます。



環境大臣表彰を受賞した
中川幸彦理事長

小池芳廣理事が市政功労者徳島市長表彰を受賞されました ～ 徳島市指定上下水道工事店協同組合 ～

令和元年10月1日（火）徳島市役所において、令和元年度「徳島市置市130周年記念式典」が開催され、「徳島市政功労者」に表彰がありました。水道業界の指導者として、長年にわたり業界の発展と組合の円滑な運営に寄与された徳島市指定上下水道工事店協同組合理事の小池芳廣氏が表彰されました。益々のご活躍が期待されます。受賞おめでとうございます。



徳島市長表彰を受賞した小池芳廣理事

情報連絡員レポート(前年同月比)



この報告結果は、徳島県下の中小企業組合(協同組合、商工組合等)の役員49名に委嘱している中小企業団体情報連絡員による報告を抜粋掲載しております。

《全体の景況》

自動車販売整備業では需要が順調。家電製品小売業においても季節商品の買い替え需要が堅調であった様子。また解体工事業においても需要が好調で、今後大型解体工事の発注が見込まれるとの明るい報告も寄せられた。

一方、慢性化する労働力問題をはじめ、依然として続く原材料高や燃料価格の高止まりや、消費増税前の駆け込み需要が少ないことや台風の影響による売上高の伸び悩みを嘆く声も寄せられた。

景気は緩やかな回復を続けていると言われていたものの、エスカレートする米中貿易摩擦や日韓関係の悪化など緊迫する国際情勢等による国内外経済の下振れリスクが存在しており、先行き不透明な状況に変わりはない。県内中小企業においても、今後の景気動向を注視していく必要がある。

【製造業】

《食料品》

【味噌】前年同月比、みその生産量、出荷量とも100%を越えた。全国的に回復基調となっているので推移を注視したい。徳島県内のみその3割を占める御膳みその生産量が前年同月比138.9%と増加し牽引している。

【漬物】漬物製造業者では一時的に奈良漬の受注が増加したが、売上の増加や利益の確保までには至っていない。製造現場では労働者の不足によりかえって厳しい状況が続いている。野菜生産農家では収量は前年並みを確保できたが、価格の下落により前年並の収益を確保するのが困難な状況である。

【醤油】食品表示基準に対応したラベルへの経過措置期間が残り6ヵ月余り。新表示に対応準備しているところだ。

《繊維・同製品》

【縫製】生産性については、生産性の向上が思わしくない。収益については、前倒し受注増による経費がコスト高に推移している。将来の景気回復への見通しは引き続き厳しい状況下だが、医療用靴下への参入を検討する企業もある等期待感もある。

【縫製】市場の低迷。

《木材・木製品》

【木材】入荷量は多くなっているが、欠陥、傷み材が出やすく価格は弱含みに展開し、動きも鈍化傾向で売上げ増は難しい。製品需要、価格も底這い状況で変わらず大きな変動は見られない。

【製材】消費増税前の駆け込み需要もなく、低調な状況が続いており、厳しい経営が続いている。

【木材】先月同様、県内の内地材製材業者がますます少なくなっている。最近も徳島県内老舗の製材工場が閉鎖になり、県内の木材製材業態の縮小に拍車がかかっている。

【製材】一進一退の状況で先行不透明である。

《印刷》

【印刷】お盆などで休みが多く、稼働日数が少ない売上の上がらない月である。消費増税前の駆け込み需要は少なく、逆にその反動減の方が多そうなので、懸念されている。

【印刷】例年通り操業日数が少なく、売上は期待出来ない。消費増税があり、各社駆け込み需要を期待しているが、需要の先食いになるだけだと考えている。また活発な営業活動を展開しても中々反応がない上に、関連を含む業界全体では求人面において新卒の採用だけでなく中途採用も厳しくなっており、今後は本格的なテレワークやRPAに取り組む必要がありそうだ。

《窯業・土石製品》

【生コン】昨年同月と比較してほぼ横ばい。お盆休みがあり、出荷量は毎年あまり変動しない。ただ全体的には少しずつ減少し続けている。

【生コン】対前年同月比横並びであった。要因としては、出荷数量が前年同時期と比較して、官工事での四国横断道路関連工事などによる出荷増が続いているが、周辺部との工事受注差が激しく数量は伸びていない。

《鉄鋼・金属》

【鉄鋼】全体として、業況感に大きな変化はみられない。今月は企業によってばらつきはあるものの操業日数の減により、総じて設備操業度は若干低下傾向となった。依然、人材不足解消のため、必要な人員の確保が課題となっている。

【ステンレス】引き続き大手を中心に設備投資は堅調な推移となっている。

《一般機器》

【機械金属】全体として、売上高や引合いなど良好な水準を維持しており、景況感に大きな変化は見られない。また、熟練技術者をはじめ従業員の確保難、原材料価格その他の経費の増加、需要の停滞などが、直面する経営上の課題として見受けられる。

【非製造業】

《卸売業》

【各種商品卸】人口減、高齢化による絶対需要の減少が、県内及び四国の業界全体に感じられる。

《小売業》

【ショッピングセンター】売上高の前年対比は全店計101.9%(既存店98.2%)客数102.3%(既存店96.9%)だった。最悪な結果となった先月と比較すると、ますますの売上高だった。このまま毎月100%を超えるように、販促等の強化を図る必要があるが消費税増税による内需の冷え込み等が懸念される。

【電気機器】8月も気温が高くエアコンの買換えが進んだ。全般的に消費増税の前倒し購入は少ない。

【量小売業】盆前に一般家庭の仕事が少し出たが、2、3日分の仕事量だった。増税前の駆け込み需要もあまりない。

《商店街》

【徳島市】高円寺パル商店街と友好商店街として提携した。

【徳島市】暑さ厳しく、消費増税前の駆け込み需要もなく、全般的に動きが少ない。

【阿南市】猛暑で客足伸びず。

《サービス業》

【土木建築業】先月同様、去年に比べ工務課の新直轄、道路管理課の橋梁補修、構造物修繕工事が多く発注されている。

【自動車整備】登録車・軽自動車ともに新車販売台数は増加、特に登録車の新車販売は約19%増。これに対し、中古車販売台数は登録車・軽自動車ともにダウン。増税前の新車購入の為と思われる。収益情報については、整備部門は継続検査の台数は登録車、普通車ともに微少。自動車整備業界は収益の改善だけでなく、人材不足など課題が多い。

【旅行業】あまり景況は良くないようだ。

【ビル管理】近年、取引条件がほとんど変化しない中、最低賃金の引き上げが続いている。このような急激な最低賃金の引上げに伴う影響が徐々に現れて来ている。

《建設業》

【建設業】公共事業全体では、対前年比(4月~8月)約15%増となっている。建設業者数が減少している中、採算の合わない工事は、不調・不落となってきた。

【板金工事業】仕事量は減少してきたようだ。

【電気工事業】新設住宅口数は187件であり、対前年比59.9%と減少した。

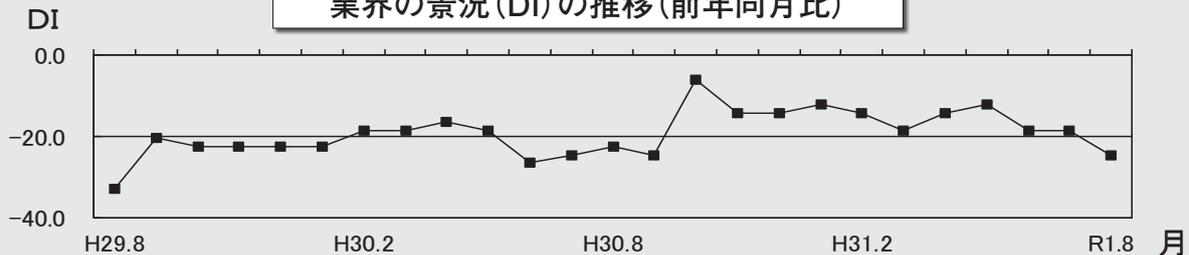
【解体工事業】民間戸建て解体工事については空屋住宅解体工事補助金支給制度により活況。大型建物については、要緊急安全確認大規模建築物(耐震改修促進法)に基づき大型建築物等の解体撤去がされており今後発注が見込まれる。

《運輸業》

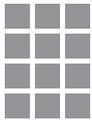
【貨物運送業】売上高が減少と答えた事業者が多かった。台風の影響や、飲料等の出荷が例年より少なかったことが原因と思われる。

【貨物運送業】毎年、お盆休暇による実働日数が減少するが、今年は台風の影響もあり取扱高は減少した。一方、軽油単価は前月比約2円の低下となり、収益改善に寄与した。

業界の景況(DI)の推移(前年同月比)



*DI値とは、各景況項目について「増加」(又は「好転」)業種割合から「減少」(又は「悪化」)業種割合を差し引いた値



青年部コーナー

青年部活動トピックス

◇ 令和元年度 徳島県中小企業青年中央会 第2回役員会 ◇

令和元年8月5日（月）、徳島県中小企業団体中央会 会議室に於いて「令和元年度徳島県中小企業青年中央会 第2回役員会」が開催され、以下の提出議案を審議し、原案通り承認・決定されました。

第1号議案 今後のスケジュールについて

第2号議案 令和元年度組合青年部研修・研究会事業の申込状況について

第3号議案 徳島商業高等学校との包括業務提携事業について

第4号議案 その他

(1) 日本商工会議所青年部 四国ブロック大会の参加について

(2) 徳島県産業人材育成交流コンソーシアムドイツ訪問団への参加について

今年度、青年中央会が徳島県商工3団体青年部次世代プロジェクトの幹事団体であり、例年好評を得ている「あわとーく」や「防災関係勉強会」等を開催させていただきますので、御参加の方よろしくお願い致します。

◇ 徳島商業高等学校との包括業務提携事業 ◇

今年度も、徳島県立徳島商業高等学校において、Jimdo を活用したホームページ作成支援事業が実施されています。実施対象として8件の企業が選ばれ、それぞれに徳島商業高等学校の生徒スタッフが専属で数人体制のチームを作って、ホームページ作成にあたっています。クライアントの要望を反映したホームページにするため、各社と綿密な打ち合わせを行っていました。



HP 設計のため、徳商で打ち合わせの様子

◇ 四国ブロック青年中央会 交流会 ◇

令和元年9月18日（水）、サンシャイン徳島アネックスにおいて、令和元年度四国ブロック中小企業青年中央会交流会が開催されました。

始めに四国ブロック会議を開催し、以下の内容を審議しました。

①四国各県の取り組み状況について

各県青年中央会が取り組んでいる既存事業や来年度実施する新規事業の概要について報告がありました。

②全国中小企業青年中央会 役員会報告

来年度の全国総会（岡山県）、全国講習会（群馬県）の開催県や組合青年部活性化研究会の開催日等について報告がありました。

③商工3団体青年部四国トップ会議における防災協定について

各県青年中央会から災害時に支援できる事項について報告がありました。

④その他

四国ブロック会議後の懇親会では、青年中央会の歴代会長等も参加し、現役青年部員と交流・懇親の場となりました。



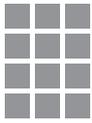
四国ブロック会長会議



四国ブロック懇親会

★今後のスケジュール★

- 徳島県商工3団体青年部 あわとーく（令和元年10月19日 ろうきんホール）
- 第3回役員会（令和元年11月上旬 徳島県）
- 徳島県商工3団体青年部 防災関係視察（令和元年11月12日、13日 大阪府）
- 令和元年度組合青年部全国講習会（令和元年11月15日 秋田県）
- リーダー研修会及び新年互礼会（令和2年2月上旬 徳島県）
- 徳島県商工3団体青年部 四国トップ会議（令和2年2月上旬 高知県）
- 四国ブロック中小企業青年中央会 会長会議（令和2年2月中旬 高知県）



女性部コーナー

◇ 令和元年度 全国レディース中央会 通常総会 ◇



7月11日（木）、全国中小企業団体中央会（東京都中央区）において「令和元年度全国レディース中央会通常総会」が開催されました。

通常総会の開会にあたり、全国レディース中央会 平賀ノブ会長より開会挨拶があり、中小企業庁 奈須野太経営支援部長、全国中小企業団体中央会 高橋春樹参与（前専務理事）、佐藤哲也専務理事より来賓挨拶がありました。

引き続き行われた議事では、平成30年度事業報告、決算報告並びに令和元年度事業計画（案）、収支予算（案）、会費の額及びその徴収方法、役員改選などの6議案についての審議が行われ、全議案が満場一致で可決されました。

総会終了間際には、全国中小企業団体中央会の森洋会長が来賓として駆けつけ、祝辞を行いました。総会後に開催された臨時役員会において、新会長に宮崎県レディース中央会の吉田陽子会長が選出されたことが報告されました。今年度の役員は以下のとおりです。

- | | |
|-----|--|
| 会 長 | 吉田 陽子（宮崎県） |
| 副会長 | 松野 ミツ（青森県）、宮川 富子（滋賀県） |
| 理 事 | 荒井美佐子（宮城県）、溝口 恵子（茨城県）、大場 和子（愛知県）
中村 敏子（大阪府）、堀田 真弓（鳥取県）、伊中 和子（島根県）
栗屋しのぶ（大分県） |
| 監 事 | 奥田 正子（東京都）、伊藤 恵子（三重県） |

また、令和元年10月10日（木）開催予定の「令和元年度レディース中央会全国フォーラム in 神奈川」について説明があり、多数の参加をお願いしたいと事務局より説明がありました。なお、令和2年度の全国フォーラムは宮崎県での開催を予定しています。

◇ 令和元年度 組合女性部活性化研究会(第1回) ◇

通常総会后、「令和元年度組合女性部活性化研究会（第1回）」が開催され、三菱UFJリサーチ&コンサルティング執行役員の矢島洋子氏より、『ダイバーシティ推進の視点でみた女性活躍推進の課題と必要な取組』と題して講演が行われました。

引き続き、新規設立レディース中央会からの提言として、とくしまレディース中央会 中本ユミ子会長より設立の経緯や今後の活動方針等の発表がありました。また、設立2年目である大分県中小企業団体中央会女性部会 栗屋しのぶ会長並びに岡山県ものづくり女性中央会 本多美奈子会長より、一年間の活動報告がありました。

最後に意見交換の場が設けられ、各県の活動状況及びレディース中央会の今後の方向性等について議論が行われました。

会場を移して開催された懇親会では、ご来賓の方々からご祝辞や乾杯のご発声を頂きました。歓談中、令和元年度新役員の披露が行われ、盛会のうちに終了しました。



主催者挨拶をする平賀ノブ前会長



挨拶する吉田陽子新会長



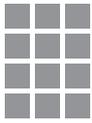
組合女性部活性化研究会（第1回）
三菱UFJリサーチ&コンサルティング 矢島洋子氏



発表するとくしまレディース中央会
中本ユミ子会長

★今後のスケジュール★

- 視察研修（令和元年11月29日 鳥取県）
- 理事会（令和元年12月中旬 中央会会議室）
- 鳥取視察振返り研修会（令和元年12月中旬 徳島市）
- 新年交流会（令和2年2月上旬 徳島市）



中央会トピックス

平成30年度補正 「ものづくり・商業・サービス生産性向上促進補助金」 補助金交付申請説明会を開催しました！

令和元年8月27日、徳島市の「ろうきんホール」において、平成30年度補正ものづくり・商業・サービス生産性向上補助金1次公募の採択企業57社を対象に、補助金交付申請に当たっての説明会を開催しました。

事業実施の責任者及び補助事業に関する経理処理等の実務担当者などに対して、事業実施上の留意事項、委託関係業務手順、補助金に関する事務処理等を説明しました。



「効果的な中小企業販路開拓支援事業講演会」を 開催しました！

令和元年9月30日、徳島市の「ホテルサンシャイン徳島アネックス」において、効果的な中小企業販路開拓支援事業の講演会を開催しました。

本事業は、令和元年度新規事業で、過年度ものづくり補助金実施事業者を対象に、効果的に売込先企業との商談に臨む際の「心構え・準備事項・PRポイント」を理解して頂くために実施することとなりました。

なお、講師には認定特定非営利活動

法人 経営支援 NPO クラブ 顧問の實生吉男 氏、理事の長 和雄氏をお招きし、「顧客獲得に繋がる展示商談会のつぼ」をテーマに、展示会・商談会開催時の準備すべき事項、展示物の訴求方法の説明などに加え、最後には訴求効果の良否の事例を交えた説明があり、参加者は熱心に聴講されていました。



組合活性化情報令和元年度第1号から中央会事務局職員が会員の皆様に、より親しんでもらえるよう、プライベートなこと（趣味、特技、熱中している物事、最近気になっている物事など）について、綴っていきます。第2回目は、連携推進課の吉川主事です。

吉川 泰史 [連携推進課 主事]

丑年 蟹座 血液型O型／平成22年4月1日入職



①性格

私の性格は、「おおらか」で「優柔不断」です。周囲からもそのように言われることが多いです。「おおらか」と思うところは実際、学生の時からはほとんど誰かに対して怒ったことがないところです。「優柔不断」と思うところは、何事も決定するのに時間を費やしてしまうところです。身近な事で、食事へ行く時にお店選びやメニューの選択に迷ってしまうことがあり、周囲をイライラさせることがあります。「優柔不断」なところを改善するために、今では何日までに決める等、期限を守る決断グセをつけています。

②休日等の過ごし方

私は平成26年に結婚し、現在では3歳9ヶ月の息子と1歳8ヶ月の娘がいます。まだまだ幼く目を離せないため、仕事以外では子供と過ごす時間が大半を占めます。現在、自分の中で面白いと思っていることが、自分が家の中で隠れて子供が来たと同時に急に飛び出して、子供を驚かせることです。驚いた後に喜んだ顔を見ることができ、満足しています。休日は子供が遊ぶことができるショッピングセンターや公園等に行くことが多いです。また、特に子供と一緒に祭りや子供フェスティバル等、年に1回しかないようなイベント等に参加することを楽しみにしています。イベントならではの雰囲気を楽しめるだけでなく、家族の思い出として動画や写真を残せることに魅力を感じています。



イベントに参加した様子

③一人の時間

仕事と子育てで一人の時間がほとんどありません。たまに一人になりたい、ストレスと感じた時は、妻に許しをもらい、ただのんびりと家近辺の散歩をしています。散歩中に自然の花や草木に季節を感じながら、癒やされています。散歩は時間関係なく手軽にでき、気持ちをリセットするときや不安と向き合うときにおすすです。

～第3回目は、橋本事務局次長です。～



お知らせコーナー

徳島県最低賃金のご案内

徳島県最低賃金 **時間額 793円** 発効日は令和元年10月1日から

特定の業種には徳島県最低賃金より高い最低賃金が定められています。

※お問合せ先は、徳島労働局労働基準部賃金室 TEL 088-652-9165 まで。

「中小企業の情報セキュリティマネジメント指導事業」参加企業募集のご案内

中小企業の情報セキュリティ対策水準を向上するためには、情報セキュリティに関する意識の向上の他に、身近で気軽に相談ができる専門家とのつながりや、専門家による指導を通じた具体的対策の実践を促す必要があります。

独立行政法人情報処理推進機構（IPA）は、地域で活躍している専門家（情報処理安全確保支援士など）を活用し、セキュリティ基本方針や関連規定の策定など中小企業における情報セキュリティマネジメント体制の構築に向けた支援を行います。丁寧にサポートしてまいりますので、是非ご応募ください。

◆本事業に参画する意義とメリット

- ① 自社の抱えるリスクを特定することができ、対策を講じるべき重点領域がわかる。
- ② 社内の情報セキュリティへの意識や対策水準が向上する。
- ③ 大切な情報を守る管理体制を構築することで、取引先や顧客などにPRできる。
- ④ 既存顧客のみならず、新たな取引先や顧客とのビジネスチャンスの獲得に貢献する。

◆支援実施期間 2019年9月末～2019年12月（予定）

◆支援対象企業数（1社当たりの訪問支援回数） 400社（4回）

◆参加費 無料

◆指導カリキュラム（予定）

1回目	情報セキュリティ診断等による潜在的リスクの洗い出し
2回目	診断結果から重点領域を可視化し対策の決定、基本方針の策定
3回目	関連規定の特定、策定に向けた検討
4回目	関連規定のレビューと専門家指導全体のまとめ

◆参加申込方法

下記の申込必要記載事項を以下のメールアドレスに送付してください。申込受領のご連絡等を事務局よりメールを送付いたします。

〈送信先〉 E-mail : info@sme-security.jp 件名：中小企業の情報セキュリティマネジメント指導申込
〈申込必要事項〉

- ① 企業・組織名（社名・業種・従業員）
- ② 所在地（県・市町村郡名・番地／建物名）
- ③ 連絡担当者名（姓名（カナ）・部署・役職）
- ④ 連絡先（電話番号・メールアドレス）
- ⑤ 「SECURITY ACTION 宣言」の実施有無（1つ星 or 2つ星 or 未宣言）
- ⑥ 指導する情報処理安全確保支援士の指名（希望あり or 希望なし）
- ⑦ 情報セキュリティ対策の取り組み状況・課題（任意）

▼詳細はこちらをご覧ください <https://www.ipa.go.jp/security/keihatsu/sme/management.html>

▼問合せ先 「中小企業の情報セキュリティマネジメント指導事業」

事務局：富士ゼロックス内 電話：03-6801-6911（平日10時30分～17時、年末年始を除く）

編集 後記

- ◆第152号発刊にあたり、関係機関の方々からご協力いただきありがとうございました。厚くお礼申し上げます。

- ◆特集では、「令和元年度徳島県商工労働観光部主要施策の概要」について紹介させて頂きました。興味のある施策がありましたら、中央会までお問い合わせ下さい。

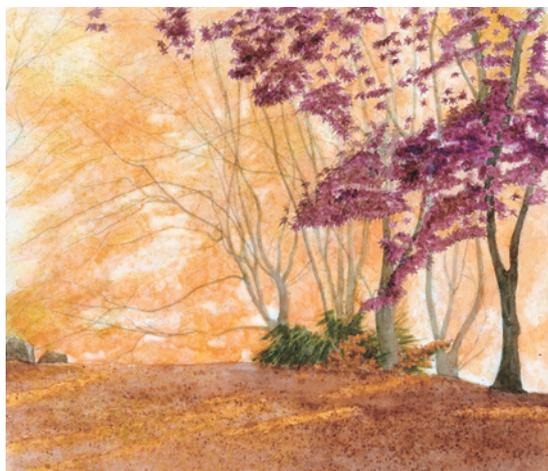
- ◆組合クローズアップでは、徳島県味噌工業協同組合を訪問させて頂きました。これまで知らなかった「御膳みそ」の新たな一面を知ることができました。自分自身、味噌汁、味噌ラーメンなど味噌を使用した食品を好んで食べます。また他県を旅行した際には、味噌を使用したパン、饅頭などの商品を食べたこともあります。組合HPでは、「御膳みそ」を使用したおススメのレシピを募集しています。皆様も「御膳みそ」を使った斬新なアイデア商品があれば中央会までご連絡下さい。

- ◆ものづくりの達人では、アウトフィット有限会社を紹介しています。徳島県内では、少子高齢化や人口流出による深刻な過疎化に伴い、地域のつながりが薄らいでいます。こうした中、同社の取り組みが、高齢者向けのサービスや廃校活用などの効果的なモデル事例として、県内外に拡がり、地域のコミュニティの維持・活性化に繋がればと思います。また新たな余生の過ごし方の提案にもなると思います。

- ◆夏の暑い日も一段落し、ようやく秋に近づいています。涼しくなると旅行に行きたくなります。私は、今まで全国各地の城を巡っており、以前本誌の日本全国名城巡りのコーナーで、徳島から近くて行きやすい和歌山城を紹介しましたが、和歌山城西之丸庭園は別名“紅葉渓庭園”と呼ばれており、紅葉の名所になっています。私が訪問した時は、初秋であったので、紅葉の見頃の時期にもう一度訪れてみたいと思っています。

vol. 02
令和元年度 第2号
(年間4回発行 通巻第152号)

組合活性化情報 中央会とくしま



大山寺境内 水彩画/布川 嘉樹